

☆授業改善の具体策☆

《各学年の特徴》

- 3年 テーマを基に、意欲的に学習に取り組んでいるが、自分の課題を設定したり、調べ方を選択したりすることに課題がある。
- 4年 テーマを基に一人一人が調べ学習を行い、調べ、まとめたことや自分の考えを表現することができる。
- 5年 テーマを基に課題を設定し、その解決に向けてすすんで活動することができる。
- 6年 活動のねらいを捉え、自身の興味・関心に合った課題を設定し、活動を進めることができる。

育てたい力（課題）

- 3年 体験的な活動を通して、自ら学び方を考え、判断できる力。
- 4年 身の周りのことから課題を見付ける力、解決するための方法を考えたり必要な情報を収集したりする力、まとめ発表する力。
- 5年 問いを見だし、課題解決に向けて、多くの情報から必要なものを精選し、相手に伝わりやすい発表ができるようにまとめる力。
- 6年 自ら課題を見付け、友達や地域の人々と積極的に関わり、必要な情報を収集・選択し、適切な方法でまとめ、表現する力。

- ・地域人材の活用 ・学年合同での指導 ・他教科との合科的指導
- ・言語による分析、表現 ・ICT機器の活用 ・ポスターセッション
- ・既習事項の応用、活用 ・ホワイトボードの活用

《知識及び技能》

- 3年 地域人材を活用したり、体験的活動を行ったりすることで、課題解決に必要な知識の習得を促す。
- 4年 地域人材を活用し、体験的な活動を通して課題を解決していく。
- 5年 地域人材を活用し、体験的な活動を通して課題を解決していく。
- 6年 地域人材を活用し、体験的な活動を通して課題を解決していく。

《思考力・判断力・表現力等》

- 3年 調べたことを、ICT機器等を活用してまとめ、その資料を使いながら発表する場面を設定する。
- 4年 調べたことの中から、課題に合った情報を選択し、まとめたものをICT機器や自作資料等を活用して、発表する。
- 5年 調べたことをポスターやICT機器を活用してまとめ、ポスターセッションやプレゼンテーションの形式で、他学年や保護者に発表する。
- 6年 ICT機器を活用し、課題解決に必要な情報を収集して、効果的な発表の方法を選択して表現する。

《学びに向かう力》

- 3年 多教科等と横断した指導を行い、学習したことを活用する場面を意図的に設定する。
- 4年 他教科と横断した指導を行い、学習したことを実生活に生かしていく。
- 5年 他教科と横断的に学習し、自分についての理解を深め、よりよい学校生活を送ろうとする態度を育てる。
- 6年 実社会や実生活、地域の様子を踏まえた課題設定を行う。また、活動の振り返りを適宜行うことで、主体的に取り組めるようにする。